

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 低温センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
A	B	A

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化 】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 老朽化が進む吹田分室のヘリウム液化装置について、平成 28 年度国立大学法人先端研究等施設整備費補助金での改善のための予算が認められ、入札実施を経て請負業者が決定し、平成 29 年度に設置・稼働の予定。設備マスタープランで計画されていた大きな計画が達成されたことが評価できる。